

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 マルハニチロ株式会社

コード番号 1333 URL <https://www.maruha-nichiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池見 賢

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長役 (氏名) 目時 弘幸 TEL 03-6833-1195

四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	787,346	0.8	25,358	△5.9	30,228	△2.0	22,434	21.2
2023年3月期第3四半期	781,020	18.1	26,947	20.4	30,847	24.5	18,503	14.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 37,967百万円 (1.8%) 2023年3月期第3四半期 37,284百万円 (94.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	444.81	ー
2023年3月期第3四半期	360.37	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	698,480	242,652	29.5
2023年3月期	637,227	212,522	28.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 205,828百万円 2023年3月期 178,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	ー	ー	65.00	65.00
2024年3月期	ー	35.00	ー	ー	ー
2024年3月期（予想）	ー	ー	ー	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,020,000	△0.0	27,000	△8.7	31,000	△7.5	22,000	18.3	436.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、〔添付資料〕P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	50,578,837株	2023年3月期	50,578,837株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	215,218株	2023年3月期	128,003株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	50,435,702株	2023年3月期3Q	51,346,009株

(注) 当社は、取締役等に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」を導入しており、また、当第3四半期連結会計期間より従業員に対する株式給付制度「株式給付信託（J-E SOP）」を導入しております。期末自己株式数には、株式給付信託（BBT及びJ-E SOP）の保有する当社株式（2024年3月期3Q 174,976株、2023年3月期3Q 91,100株）が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2024年3月期3Q 103,630株、2023年3月期3Q 31,689株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスク等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化が進む中、インバウンド需要の回復等により景気は緩やかな回復傾向となりました。

一方、ウクライナ情勢の長期化、継続する物価上昇による消費の低迷など、引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、長期経営ビジョンの実現に向けて、引き続き「経営戦略とサステナビリティの統合」「価値創造経営の実践」「持続的成長のための経営基盤強化」に取り組んでまいりました。

(長期経営ビジョン)

- ①事業活動を通じた経済価値、社会価値、環境価値の創造により、持続可能な地域・社会づくりに貢献する
- ②総合食品企業として、グローバルに「マルハニチロブランド」の提供価値を高め、お客様の健康価値創造に貢献する
- ③水産資源調達力と食品加工技術力に基づく持続可能なバリューチェーンを強化し、企業価値の最大化を実現する

その結果、売上高は787,346百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は25,358百万円（前年同期比5.9%減）、経常利益は30,228百万円（前年同期比2.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22,434百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

水産資源事業

水産資源事業は、国内外で漁業を行う漁業ユニット、国内において主にブリ、カンパチ、マグロの養殖を行う養殖ユニット、国内外にわたり水産物の調達・市場流通も含む販売ネットワークを持つ水産商事ユニット、中国・東南アジア・北米・欧州において水産物・加工食品の生産・販売を行う海外ユニットから構成され、国内外の市場動向を注視しながら、収益の確保に努めました。

漁業ユニットは、漁船の稼働低下による漁獲数量の減少、マグロ等の販売単価下落及び燃油代の高騰により、減収減益となりました。

養殖ユニットは、マグロ・カンパチの販売価格が堅調に推移し売上高は前年並みも、餌料費等の高騰による原価上昇により減益となりました。

水産商事ユニットは、冷凍マグロ、鮭鱒、ホタテなどの販売価格が引き続き低迷した結果、減収減益となりました。

海外ユニットは、北米ではアラスカのスケソウダラ漁獲枠の増枠もあり供給増、すりみ、フィレの軟調な相場の中、販売遅れと単価低下により減収減益、欧州は昨年の子会社化したイギリス水産加工販売会社及びオランダの食品卸会社が堅調に推移し、増収増益、アジアにおいてはタイのペットフードが主要販売先である北米での在庫調整により販売低調、減収減益となり、全体においては増収減益となりました。

以上の結果、水産資源事業の売上高は451,969百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は11,273百万円（前年同期比42.1%減）となりました。

加工食品事業

加工食品事業は、家庭用冷凍食品・缶詰・フィッシュソーセージ・ちくわ・デザート・調味料・フリーズドライ製品等の製造・販売を行う加工食品ユニット及び化成品の製造・販売を行うファインケミカルユニットから構成され、お客様のニーズにお応えする商品の開発・製造・販売を通じて収益の確保に努めました。

加工食品ユニットは、値上げにより消費者の節約志向が強まり販売数量減となった他、前年の広島工場における火災損失をカバーしきれず減収となりました。一方、生産性の向上及び価格改定効果により増益となりました。

ファインケミカルユニットは、機能的表示食品制度の運用方法の見直しによる取引先の買い控え及びペルーのアンチョビー禁漁による原料の値上がり等が影響し、減収減益となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は79,717百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は4,930百万円（前年同期比65.3%増）となりました。

食材流通事業

食材流通事業は、多様な業態に対して水産商材や業務用商材の製造・販売を行う食材流通ユニット、国内外の畜産物を取り扱う畜産ユニットから構成され、グループにおける原料調達力、商品開発力、加工技術力を結集して業態ニーズにお応えする商品を提案し、収益の確保に努めました。

食材流通ユニットは、グループ内の連携を強化し、市場の変化に合わせた業態ニーズを把握し販路拡大に努めたこと、特に外食ルートが伸長したことなどにより増収、業務効率及び工場の生産性向上により増益となりました。

畜産ユニットは、全般的な畜肉相場の上昇に伴う販売価格の上昇及び輸入食肉の販売が堅調に推移したことから、増収増益となりました。

以上の結果、食材流通事業の売上高は240,943百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は6,696百万円（前年同期比121.4%増）となりました。

物流事業

物流事業は、水産品をはじめ畜産品や冷凍食品などの集荷活動による着実な保管需要の取り込みに加えて、電気料金等のコスト上昇を価格に反映したことなどにより、売上高は13,500百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は2,333百万円（前年同期比72.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は698,480百万円となり、前連結会計年度末に比べ61,253百万円増加いたしました。これは、主として売上債権及び棚卸資産の増加によるものであります。

負債は455,828百万円となり、前連結会計年度末に比べ31,124百万円増加いたしました。これは、主として仕入債務及び有利子負債の増加によるものであります。

非支配株主持分を含めた純資産は242,652百万円となり、前連結会計年度末に比べ30,129百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月8日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想につき、当第3四半期連結累計期間の業績を勘案し、今後の経済状況、販売動向等を予測した上で、下記の通り修正いたします。詳細につきましては、本日（2024年2月5日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(2024年3月期通期連結業績予想数値の修正)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	980,000	27,000	27,000	18,500	366円69銭
今回修正予想 (B)	1,020,000	27,000	31,000	22,000	436円82銭
増減額 (B - A)	40,000	—	4,000	3,500	—
増減率 (%)	4.1%	—	14.8%	18.9%	—
(参考) 前期連結実績 (2023年3月期)	1,020,456	29,575	33,500	18,596	363円68銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,679	34,927
受取手形、売掛金及び契約資産	131,769	170,470
棚卸資産	216,698	226,311
その他	10,903	12,981
貸倒引当金	△410	△539
流動資産合計	392,639	444,150
固定資産		
有形固定資産		
土地	42,417	42,469
その他(純額)	106,577	107,381
有形固定資産合計	148,995	149,850
無形固定資産		
のれん	8,868	8,086
その他	22,860	24,754
無形固定資産合計	31,728	32,841
投資その他の資産		
投資その他の資産	65,386	73,114
貸倒引当金	△1,522	△1,476
投資その他の資産合計	63,864	71,638
固定資産合計	244,587	254,330
資産合計	637,227	698,480
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,701	55,253
短期借入金	174,228	183,919
引当金	1,893	2,343
その他	47,625	56,692
流動負債合計	265,448	298,208
固定負債		
社債	5,000	18,000
長期借入金	121,910	107,441
退職給付に係る負債	19,091	19,270
引当金	165	304
その他	13,087	12,603
固定負債合計	159,255	157,620
負債合計	424,704	455,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	36,634	36,308
利益剰余金	107,313	124,694
自己株式	△308	△556
株主資本合計	163,639	180,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,782	10,839
為替換算調整勘定	7,920	15,678
退職給付に係る調整累計額	△1,030	△1,134
その他の包括利益累計額合計	14,672	25,383
非支配株主持分	34,210	36,823
純資産合計	212,522	242,652
負債純資産合計	637,227	698,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	781,020	787,346
売上原価	674,187	682,341
売上総利益	106,833	105,005
販売費及び一般管理費	79,885	79,647
営業利益	26,947	25,358
営業外収益		
受取配当金	982	1,125
為替差益	1,548	2,357
持分法による投資利益	1,357	1,572
雑収入	2,050	2,788
営業外収益合計	5,939	7,844
営業外費用		
支払利息	1,575	2,490
雑支出	463	484
営業外費用合計	2,039	2,974
経常利益	30,847	30,228
特別利益		
固定資産売却益	1,619	164
段階取得に係る差益	316	—
受取保険金	—	7,969
その他	1,307	573
特別利益合計	3,243	8,708
特別損失		
固定資産処分損	79	161
減損損失	—	395
火災損失	2,897	—
投資有価証券評価損	206	343
損害賠償金	—	1,228
損害賠償損失引当金繰入額	—	569
その他	396	623
特別損失合計	3,579	3,322
税金等調整前四半期純利益	30,510	35,613
法人税等	7,802	10,766
四半期純利益	22,708	24,846
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,204	2,412
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,503	22,434

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	22,708	24,846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	456	3,062
為替換算調整勘定	12,427	8,532
退職給付に係る調整額	△279	△104
持分法適用会社に対する持分相当額	1,972	1,630
その他の包括利益合計	14,576	13,120
四半期包括利益	37,284	37,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,978	33,144
非支配株主に係る四半期包括利益	7,305	4,822

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産資源	加工食品	食材流通	物流	計				
売上高									
外部顧客への売上高	458,274	82,001	227,136	13,308	780,721	298	781,020	—	781,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46,291	2,573	6,136	5,606	60,608	158	60,766	△60,766	—
計	504,566	84,575	233,273	18,915	841,330	457	841,787	△60,766	781,020
セグメント利益	19,464	2,982	3,025	1,353	26,825	212	27,037	△90	26,947

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△90百万円には、セグメント間取引消去△142百万円及び全社費用配賦差額52百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産資源	加工食品	食材流通	物流	計				
売上高									
外部顧客への売上高	451,969	79,717	240,943	13,500	786,130	1,215	787,346	—	787,346
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45,060	5,042	7,046	5,931	63,081	165	63,246	△63,246	—
計	497,029	84,759	247,990	19,432	849,212	1,381	850,593	△63,246	787,346
セグメント利益	11,273	4,930	6,696	2,333	25,233	839	26,072	△713	25,358

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△713百万円には、セグメント間取引消去△58百万円及び全社費用配賦差額△655百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。